

一般入試前期A日程1日目

英語

I

■出題のねらい

日常的な会話の内容を正確に理解する力を問う問題です。2人のやりとりを見失わないようにしながら、細かい情報を読み取りましょう。空所補充問題は、特に空所の後の会話をしっかり読みながら、文脈に合う選択肢を選ぶ必要があります。内容読解問題は、話者が2人いるので、どちらかの人物に当てはまる内容なのか、それとも両方の人物に当てはまる内容なのかにも注意しながら読み進めると、正答にたどり着けるはずです。

■採点講評

どの問題も正答率は5割以上でした。特に□1は8割以上の正答率で、その他の問題の各正答率は5～6割でした。残りの3つの不正解の選択肢のうち、2～3割近くの受験生が選んだ選択肢は、□2の②、□3の③、□5の③です。それぞれ“bowling”、“difficult”、“every half an hour”などの本文で使用されているのと同じ（もしくは同じ意味を持つ）単語によってミスリードされてしまったものと思われます。□4の④を選んだ受験生も多かったですが、Paulは「リスニングの練習をあまりしていない」と述べているだけで、「勉強方法がわからない」とは述べていません。一文一文をしっかりと読むことで、正答率の向上につながるはずです。

II

■出題のねらい

魚市場の案内を読み、ポイントとなる情報を正確に読み取る力を問う問題です。購入方法、ツアー案内、食事キットの紹介、その他魚以外の商品案内など、様々な情報があります。細かな数字の情報などもしっかりと読まないで正答にたどり着けない問題も含まれています。また、□9と□10の問題は、本文全体から答えを探さなければなりませんので、問題を解くのに時間をとられすぎないように注意をしましょう。

■採点講評

□6の正答率は6割超で、その他の問題の各正答率は5～6割でした。□9と□10に関しては、本文全体を見渡す必要があったためか、他の問題と比較すると、不正解の選択肢3つのどれか1つに解答が集中することがありませんでした。時間との勝負の側面もありますので、速く正確に読解できるようにしましょう。また、□8の④を選んだ受験生が3割いました。この選択肢の文で本文と合わない個所は“self-guided”の1語のみです。

III

■出題のねらい

最近各地で開設されている「夜のパン屋さん」の概要に関する英文の内容を正確に読み取る問題です。従来からホームレスの人々などの生活支援を行ってきた組織が主体となって展開されているこの事業は、さまざまな理由で生計を立てることが困難な人々にとっては生活費の補填となるだけでなく、同時に食品ロスの削減にもつながっています。そうした多方面に効果がある事業システムの発想や運営方法、あるいはその発案者の抱負について、細かい情報を整理して正確に読み解きましょう。英語や社会・経済の知識だけでなく、表にまとめられたデータの理解というテクニカルな素養も獲得しておくことが求められます。

■採点講評

11 は正答率が3割と低かったです。一方で 13 は難易度の低い問題だったので8割近くの正答率でした。残りの3つの問題の正答率は5～6割でした。11 に関しては、正答の③よりも、①を選んだ受験生が多かったです。語彙、そして内容も難しい問題でしたので、まずは語彙を増やすようにしましょう。また、15 の表を読み取る問題では、不正解の選択肢のうちで③を選んだ受験生が多かったです。乳製品と納豆では、乳製品の方が値は高いので、比較級の“lower”は真逆の意味になります。また、①を選ぶと、“those of bread”となるため、複数形の“those”との組み合わせが合いません。空白の前後の文法までしっかりと目を配る必要のある問題です。

IV

■出題のねらい

来場者が触ることができる芸術作品を展示することで、美術館や博物館を視覚障がい者にも楽しんでもらえる取り組みに関する新聞記事です。英文法の知識が問われるだけでなく、文の内容とつながりを理解したうえで接続表現を選択したり、文意に合う単語を選択したりする問題が含まれます。文法や語彙だけでなく、論理的に文脈を読み解く力も問われます。

■採点講評

本文に難易度の高い語彙が多く使用されていましたが、全体としての正答率は悪くありませんでした。選択肢に日本語が多く使用されていますので、落ち着いて読めた受験生が多かったのではないかと思います。19と24の正答率が4割程度と、他の問題に比べて低かったです。19は、選択肢が英語であったことが一因かと思われます。選択肢は英語でしたが、意味を理解できれば難しくない問題です。

V

■出題のねらい

色が人間の心や身体に与える影響についての話です。様々な色や国が出てくるので、各色や各国、または各時代での相違点や類似点を整理できているかどうかを問いました。並び替え問題では、関係代名詞、三人称単数形現在、使役動詞の“make”がポイントとなっています。文法を理解できているかが正答を導き出す鍵になります。文法も疎かにすることがないように学習しておきましょう。

■採点講評

27、29、30 はいずれも6割後半～7割近くの正答率でした。色という身近な話題であり、色がわたしたちの身体や心を与える影響という内容もイメージしやすくわかりやすかったかと思います。28 は正答率が3割であり、難易度が高かったようです。この問題は、選択肢の“believes”という動詞が三人称単数形現在の形になっているため、“all”を主語にはできない点を理解しているかを問いました。細かな文法知識までしっかりと定着させましょう。

また、29 は使役動詞の“make”を理解できているかを問う問題であり、①の“are”が不必要な単語となります。しかし、④の“make”を不必要とする並び替えも可能なため、29 に関しては①と④を正答としています。以下が、並び替えた際の文になります。

- ① “are”を不必要とする場合：“(what colors) make you feel comfortable”
- ④ “make”を不必要とする場合：“(what colors) you feel are comfortable”